

■ 幼児教育・保育

社会福祉法人高原福祉会理事長

高橋保子さん

76



園児と戯れる高橋さん

「子どもの育つ力を支援する保育と役割」

「これまでの取り組みを
論文にしたのは初めて。認
められて光栄です」と、笑
顔で受賞を喜ぶ。

20歳で保育士になり、乳
幼児保育に5年以上にわた
り携わってきた。自傷行為
をするなど、不自然な発育
をしている乳幼児を観察し

「子供たちがなぜこうなっ
たのか」という疑問を持ち
始めた。「環境が発育に与え
る影響を知らないまま、人
様の子どもを預かるなんて
おこがましい」。保育園の仕
事と掛け持ちで、大学の研
究室に通い、心理学や医学
を3年間夢中で勉強した。

心理学や医学を学ぶ

「子どもたちはみな自ら
育つ力を持っている。どの
ようにかかわるかが大事」
というのが持論。園長の職
を退いた今でも、職員には
「子どものことを第一に考
えて」と言い聞かせている。
「子どもを育てる魅力は
尽きません」。地域の運動
会などで、元気な卒園生の
姿を見るのが何よりうれし
いという。